

踏み跡 <My Mountains>

九州(脊振)	上石釜から金山と井原山	No.191
--------	-------------	--------

昭和56年12月13日

朝、明るく強い日差しを見たらどうしても山歩きがしたくなり、急遽決行。今年はまだ二回しか山歩きしていないせいだろうか。突然出かけたくなくなった時には便利な脊振山地に限る。

10時半に家を出発、途中でお弁当を買って慣れた国道263号線を上石釜へ。

11時上石釜着。前回同様トンネル出口の駐車場に駐車し、車の中で登山装束に衣替え。

11時23分出発。花乱の滝への案内表示に従って滝川の谷に沿った山道へ。花乱の滝へは立ち寄らず、沢筋の道を進むと、途中に「かもしか新道」という標識があった。正式にはこういう名前が付いているのだろう。やがて沢筋はだんだん細くなり、小さな釜やヒョングリの連続で気持ちの良い沢だ。

12時30分、主稜線に飛び出した。右へ行けば三瀬峠、左は金山、正面には佐賀県三瀬村が広がる。昼食と小休止。昼食は途中で買ってきたお弁当にみかん。稜線上の積雪は所々に少々という程度であり冬山らしくない状況。小休止のみで切り上げて12時45分に出発。

三瀬峠13時40分。井原山はどっしりと大きく、稜線が大きく湾曲しているせいか峠との隔たりも随分あるように感じる。

井原山15時30分。一面の笹原は見事だ。雷山方面へと続く稜線がよく見える。三角点がある山頂は寒いので、早々に退散することにした。

下山路は水無を経て野河内へ下るコースを選ぶことにした。一度歩いたことがあるので遅い時間でも安心して下ることができる。

16時30分に野河内を通過し、17時に曲淵のトンネル出口に到着。

車のデポ地点まで帰ればもう家に着いたようなもの。車で走って30分でもう自宅に帰着。

昭和56年の登山はこれで終了だが、大変珍しいことに、今年の最初の山と最後の山が同じ山(井原山)になった。

以上

